

猫管理システム

要件定義書

履歴

バージョン	改訂内容	改訂日	改訂者
1.0	新規作成	2019/09/02	吉野

猫管理システム 要件定義書

目次

猫管理システム 要件定義書

1 全体

1-1 システム開発の背景・趣旨

1-2 システムの目的

1-3 システムの開発範囲

1-4 システムの開発方針

2 業務フロ

2-1 現行業務フロー

2-2 新業務フロー

全体

1-1 システム開発の背景・趣旨

ここ数年、日本では犬と猫の飼育頭数が逆転している。

さらに、最近では近隣住民の苦情や健康増進のために飼い猫を外に出さない完全室内飼いの飼い主が増加傾向にある。

完全室内飼いの猫の増加に伴い、飼い主が外出時に密室で過ごす猫の増加が原因で熱中症などの心配が懸念されている。

その他にも、外出時に猫の状況が把握できないことによる飼い主の不安や病気（主に慢性/急性腎不全）の早期発見のためにトイレの量や回数を把握する必要があるが、全てを把握するのは困難に等しい。

以上の問題は IT 技術を駆使することで改善することが可能で、平均寿命の増加や飼い主・飼い猫の両者のストレスの減少につなげることができる。

1-2 システムの目的

猫管理システムを利用することにより、前述の問題点を解決できる。

- ・外出先から冷暖房の入切を行える
- ・外出先から現在の猫の状況を確認を行える。
- ・トイレの量や回数を把握することで、病気の早期発見が期待できる。

1-3 システムの開発範囲

家庭にそれぞれのデータを受信する機器（ラズベリーパイ）と利用者のスマートフォンの1対1で通信を行う。

1-4 システムの開発方針

- Android スマートフォンを用いたネイティブアプリとする。
- 基本的にはスマートフォンから使用できるようにする。

2 システム要件

2-1 機能要求

2-1-1 エアコン操作

① 室温表示

ユーザーは室温を確認できる

② エアコン操作

ユーザーはエアコンを on/off できる

2-1-2 トイレ計測

① トイレ確認

ユーザーはトイレの回数、量を確認できる

2-1-2 ウェブカメラ

① ウェブカメラ

ユーザーはウェブカメラで猫の様子を確認できる